

◆ 2019 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 エコシティ志木

22A-05

代表者：代表理事 天田 眞

URL : <http://www.kappa-no.net/eco-shiki/>

1. 活動が必要とされた状況

志木市は、武蔵野台地と、3本の川が流れる低地からなっています。急速な宅地化が進む中で、荒川・新河岸川・柳瀬川周辺及び台地と間の斜面林は貴重な自然となっています。長年、これら環境保全と自然観察や生きものの調査・観察を続けています。生きもの図鑑を作成し、沢山の生きものが棲む貴重な自然が残っていることを知ってもらい、減少しつつある自然を生かしたまちづくりを進めることが必要と考えています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ①里山の手入れと観察（2か所）（42回、363人）
- ②外来植物駆除（2か所）（9回、75人）
- ③柳瀬川の美化活動（10回、55人）
- ④志木の生きもの調査・観察と水質調査（10回、66人）
- ⑤志木の自然観察・ぶらり散歩…（5回、78人）
- ⑥カヤネズミの巣をさがそう（64人）
- ⑦小学生環境学習への協力（17回、229人）
- ⑧市民向け環境講座の実施（20人）
- ⑨生きもの図鑑の作成（28回、237人）
- ⑩外部イベントでの発表・展示等（7回、28人）



3. 活動の成果（2月末までの分）

- ①5年がかりとなった「志木いきもの図鑑」を刊行した。
- ②里山の「西原ふれあい第三公園」は、参加人数が増えたことと、回数を月2回から3回に増やす事によって、保全作業がかなり改善された。
- ③カヤネズミ原っぱの外来植物駆除は、会員及びボランティア要員が例年より多く、それなりの成果が得られた。
- ④新しい会員の積極的なイベント参加により、当会の活動をより充実して運営することができた。



4. 今後に残された課題

- ①「志木生きもの図鑑」を小中高等学校及び図書館へ配布し、広く活用してもらう。
- ②里山の「いろは親水公園」については、斜面林の手入れが追い付かず、来年度から、回数を月1回から2回に増やして対応したい。
- ③柳瀬川の外来植物駆除については、中学校との協働作業をやめたため、オオバコが再び増えてしまった。来年度は、中学校との協働作業で抜き取りたい。

